

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用実績

番号	事業名	事業内容	事業費	臨時交付金 充当額	事業開始	事業完了	実施状況・効果
1	地域応援券交付事業	全町民を対象として、町内に事業所を置く商店等で一定期間使用できる商品券一人当たり15,000円（1冊）を交付。	76,445,812円	76,445,000円	R3.7.12	R4.1.31	対象者4,923人に対し4,923冊を発行、換金率は95.5%であり、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける住民に経済的支援を行うとともに町内商店等に対しての支援にもつなげることができた。
2	子育て支援施設における新型コロナウイルス感染症対策事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、関係機関との対面の会議ができないことから、リモート会議を開催するためのパソコンを購入。	203,480円	203,000円	R3.11.1	R3.8.31	子ども家庭支援センターにおいてリモート会議用のパソコンを1台購入した。リモートでの会議手段を確保したことにより、感染症の拡大防止、事業の継続性が図られた。
3	避難所等における無線通信設備整備事業	災害時に避難所となる施設や役場、また災害時に活動する消防団、消防署において、感染防止上、接触機会を減少させながらも情報連携が可能となるよう衛星無線機を購入。	5,627,600円	5,627,000円	R3.9.2	R3.10.29	町施設及び避難所等施設用に12台、消防署及び消防団用に8台の計20台を整備したことにより、災害時等において接触機会を持たずに連絡する手段を確保することができた。
4	古里診療所経営支援事業	新型コロナウイルス感染症による外来患者数減の影響が大きい古里診療所に対し、古里地区の中核医療機関としての機能を維持するため、支援金を交付。	5,000,000円	5,000,000円	R3.4.1	R4.3.25	新型コロナウイルス感染症により経営に大きな影響を受けた診療所に支援を行ったことにより、事業者及び町民等に対しても医療環境を維持・確保することができた。
5	バス路線維持費補助事業	外出自粛等の影響を受け、乗客が激減し、事業収入が大幅減となった町内路線バス運行事業者に対し、事業継続のため補助金を交付。	16,000,000円	16,000,000円	R3.4.1	R4.3.25	新型コロナウイルス感染症により経営に大きな影響を受けたバス運行事業者に支援を行ったことにより、公共交通であるバス路線を維持し、住民等の交通手段を確保することができた。
6	事業継続応援金事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内の事業者に対し、個人事業主は1事業者あたり20万円、法人は従業員数と資本金額に応じて、1法人あたり30万円、40万円、50万円、60万円の応援金を給付。	42,100,000円	39,149,000円	R4.2.16	R4.3.31	受付件数150件のうち150件に給付し、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける町内事業者に対し経済的支援を行うことで、事業継続に寄与することができた。
合計			145,376,892円	142,424,000円			